① 看護学研究科　2026年度

② 入試区分

看護学研究科博士前期（Ⅰ期）

③ 出題科目

専門科目

④ 出題の意図

臨地実習で学生の学びの質を向上させることは看護基礎教育における重大な課題である。
この設問により看護教育学領域の専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

令和８年徳島文理大学大学院看護学研究科 博士前期課程（Ⅰ期 ）入学試験問題

試験科目：専門科目

受験番号		氏名		領域	看護教育学

以下の問題に答えなさい。解答は解答用紙に記入しなさい。

問 1： 看護基礎教育における臨地実習は、学生が看護実践を学び、専門職としての態度を形成する重要な機会です。一方で、実習環境の多様性や指導体制の課題など、学びの質を左右する要因も存在します。

あなたが考える「臨地実習における学びの質の向上」に必要な教育的工夫と、実習指導教員に求められる役割について、具体的な教育場面を交えて論じなさい。

令和８年徳島文理大学大学院看護学研究科 博士前期課程（Ⅰ期 ）入学試験

解答例

　臨地実習の教育的意義を前提に課題を明確化し、学びの質の向上に必要な教育的工夫（リフレクションの導入、臨地場面でのロールモデル提示など）や、実習指導教員に求められる役割（役割モデル、具体的なフィードバック提供など）を具体的に示し、臨地実習の教育的質向上に向けた展望が倫理的に述べられていること。